

池田 良穂 (大阪経済法科大学 客員教授) の

新クルーズ学

▶17◀

八重山観光に新しい波

日本各地の多くの離島 万人に急増してしまし
が過疎に直面し、さらに。この増加は6年前か
観光客の獲得もままなららで、新石垣空港の開業
ない状況にある中で、成 効果とクルーズ客が30万
功事例の一つに挙げられ 人余りに達していること
るのが、石垣島を中心と にもよるもののようにで
する八重山地方です。

約10年前に取材した時 では、このうちの約10
には年間80万人程度の入 5万人が石垣港から高速
込数で、その多くが高速 旅客船を使って離島観光
旅客船を利用して巨大な をしています。

サンゴ礁の中に点在する 筆者が事務局長を務め
複数の島をめぐる離島観 る日本クルーズ&フェリ
光を楽しんでいました。 ー学会で、日本各地の高
石垣島から竹富島までは 速旅客船を紹介する本を
わずか15分、西表島まで 発行することとなり、八
でも40分で到着します。

沖縄県八重山支庁の最 近の統計によると、八重
山入域観光客数は130

快適な新造高速旅客船「あやばに」

重山の船の現状を調べて 重山の船の現状を調べて
いると、最近、大型の高 離島をつなぐ船は、小型
速旅客船が何隻か登場し 船が多く、とにかくスピ
ードを競っていました。

なかには1日で3〜5島 をまわるツアーまである
ので、とにかく移動時間 の短縮が大事だったので
す。乗り心地がよいとい は、船での移動中は休憩
時間であり、座席で寝て



竹富島に入港する「あやばに」。2階に観光客の姿が見える

過ごす人がほとんどで した。その間、船は美しい
サンゴ礁の海を疾走して いました。

この運ぶだけの船から の脱皮を図ったのは、12
年前に旅客船事業に新規 参入した石垣島ドリーム
観光でした。オーストラ リアで建造した2隻の大
型高速旅客船「プレミア ム・ドリーム」と「スー
パー・ドリーム」は、い ずれも150総トン余
り。19総トン型船の多い 八重山の旅客船の中では
破格の大型船で「船旅そ のものも楽しむ」という
コンセプトを導入した船 でした。

最近はお舗の八重山観 光フェリーも同様のコン
セプトの船を登場させま した。それが昨年就航し
た「あやばに」で、その 船名は「美しい羽根」と
いう意味とのこと。 船体はアルミ合金製の双
胴型で、総トン数は12

2ト。2階には広いオー プンデッキがあって、潮
風を浴びながら美しい海 とそこに浮かぶ島々の風
景を堪能することができます。その船旅のあまり
の快適さに、西表島往復 と小浜島往復の4航海も
してしまいました。

同船は1日中いろいろ な航路に就航しています
が、港には当目の就航船 の名前が掲示されている
ので、確実に同船の船旅 を楽しむことができま
す。「あやばに」の最高 速度はなんと40ノットで
す。石垣に出かけたら、 ぜひ「あやばに」の船旅
をお楽しみください。